

日本看護協会神戸研修センター 主催セミナー

1. 救急における精神疾患の早期発見・早期対応 (研修番号 209)

日時●7月5日(木)・6日(金)

会場●日本看護協会神戸研修センター(兵庫県神戸市)

プログラム●救急領域で取り扱う精神疾患の基礎知識/救急部門と精神科の連携/身体疾患と精神障害の鑑別/精神障がい者の身体合併症および向精神薬の副作用/自傷・自死企図者および自死に遭遇した看護師へのケアほか

講師●緒田裕行(関西医科大学附属滝井病院)/上條吉人(北里大学病院)/森口勇子(浅香山病院)/柳澤八恵子(聖路加国際病院)

対象●看護職

参加費●会員1万5000円, 非会員2万2500円

2. ナースのためのホスピス緩和ケア研修/第1部 (研修番号 217)

日時●8月22日(水)~9月12日(水)のうち16日間

※第2部は実習(11月以降15日間)

会場●日本看護協会神戸研修センター(兵庫県神戸市)

応募要件●①ホスピス緩和ケア病棟, 一般病棟, 病院・診療所の外来, 在宅, 病院以外の高齢者福祉施設等で死にゆく過程を生きる人とその家族への看護に携わっている者, ②実務経験3年以上の者, ③上司の推薦がある者

参加費●一律6万8000円

【以下共通】

申し込み●ホームページより

問い合わせ●日本看護協会神戸研修センター

TEL 078-230-3250(継続教育係)

URL <http://www.nurse.or.jp/nursing/education/training/index.html>

■ 病院管理研究協会研修

1. 地域密着型病院 看護部長の病院管理研修

日時●7月6日(金)

会場●ホギメディカル本社ホール(東京都港区)

プログラム●「財務管理の必要性和病院管理

指標の見方——病院経営における看護部門の役割」石尾肇(石尾公認会計士事務所所長)/「地域密着型病院の戦略的組織マネジメント」山田康夫(JA神奈川県厚生連教育担当部長)/「看護部長の憂うつと挑戦(討議)」井部俊子(聖路加看護大学学長)/「地域密着型病院における看護師の役割——看護部長に期待すること」井上憲昭(富士見高原医療福祉センター富士見高原病院統括院長)

定員●先着96名

参加費●会員1万3000円, 非会員1万7000円

2. 病院管理 事務部長研修

日時●7月20日(金)・21日(土)

会場●ホギメディカル本社ホール(東京都港区)

プログラム●

7月20日「これからの組織マネジメントと人材開発」正木義博(済生会横浜市東部病院院長補佐)/「弁護士から見た医療現場におけるクレーム対応」桑原博道(仁邦法律事務所弁護士)/「事務長の役割は——病院経営のプロデューサー」中村彰吾(東京都健康長寿医療センター理事・経営企画局長)

7月21日「BSCの基本的理解と活用」渡辺明良(聖路加国際病院財務経理課マネージャー)/「病院経営指標の理解と戦略活用——透明化した病院経営における自立的視点から」石井孝宜(石井公認会計士事務所所長)/「事務部門統括責任者の役割と実践」相田俊夫(倉敷中央病院副理事長)

定員●先着96名

参加費●会員2万円, 非会員2万8000円

3. 看護管理研修 看護職の確保・育成・定着化セミナー

日時●7月27日(金)

会場●ホギメディカル本社ホール(東京都港区)

プログラム●「病院現場で発生するハラスメント・マネジメント」三木明子(筑波大学大学院人間総合科学研究科准教授)/「看護職がいきいきと働き続けるための人材・組織づくり」中島美津子(南東北ヒューマンリソースクリエーター兼総合東京病院総看護師長)/「採りたい看護職が『集まる』病院になる方法——『集める』採用活動から『集まる』採用活動へ」石田秀朗(テキックス㈱代表取締役社長)/「ワークライフバランスと人事評価システム——看護マネジメント参加者全

員のWINを目指して」竹中君夫(明和会医療福祉センター法人本部主幹)

定員●先着96名

参加費●会員1万3000円, 非会員1万7000円

4. 診療報酬改定と波及効果の検討

日時●7月28日(土)

会場●東京都看護協会2階(東京都新宿区)

プログラム●「当院からみた24年度診療報酬改定」中山和則(筑波メディカルセンター病院事務部長)/「訪問看護ステーションにおける介護・医療同時報酬改定の影響」佐藤美穂子(日本訪問看護在団常務理事)/「診療報酬改定と波及効果の検討」武久洋三(日本慢性期医療協会会長)/「H24年度診療報酬改定のポイントと医療機関の経営対応」中林梓(ASK 梓診療報酬研究所所長)

定員●先着120名

参加費●会員1万3000円, 非会員1万7000円

5. 看護管理研修 看護ミドルマネージャーコース(前期)

日時●8月7日(火)~10日(金)

会場●ホギメディカル本社ホール(東京都港区)

テーマ●魅力あり期待される看護部門の創出のために

プログラム●

8月7日「コーチングを用いた部下とのコミュニケーション技法(1)・(2)」米本倉基(藤田保健衛生大学准教授)

8月8日「活気ある職場づくり——FISH哲学を通して(1)・(2)」小路美喜子(東京慈恵会医科大学看護管理理事)/グループワーク

8月9日「リーダーに必要な概念化能力(1)・(2)」陣田泰子(済生会横浜南部病院院長補佐)/「病棟部門の安全対策と施設管理」寛淳夫(工学院大学教授)

8月10日「2012年診療報酬改定とチーム医療の重要性(1)・(2)」工藤高(MMオフィス代表取締役)

定員●先着60名

参加費●会員4万1000円, 非会員5万3000円

【以下共通】

申し込み●専用申込書のFAXにて

問い合わせ●病院管理研究協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-29-8 公衛ビル

TEL 03-3352-2575

FAX 03-3352-2575

URL <http://www.5.ocn.ne.jp/~byokan21/>

日本訪問看護振興財団 2012 年度セミナー

1. 訪問看護経営・運営管理セミナー

日時●7月21日(土)

会場●チサンホテル新大阪(大阪市)

プログラム●訪問看護ステーションの経営とは／経営安定に導くためのマーケティング／訪問看護ステーションの黒字化の方策／地域包括ケア(社会が求める訪問看護への期待)における訪問看護の役割／訪問看護ステーションの運営・管理の実例

講師●梅本哲(医療産業研究所代表取締役)・平原優美(あすか山訪問看護ステーション統括所長)

2. スタッフ教育セミナー——OJT シートの活用

日時●7月22日(日)

会場●チサンホテル新大阪(大阪市)

プログラム●新たな現任教育——概論 経験からの学びについて／継続教育・現任教育とは／現任教育の実例／訪問看護OJTシートの活用方法(講義・演習)／発表など
講師●上野まり・本田彰子(東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科教授)・矢尾知恵子(河北総合病院河北訪問看護・リハビリテーション阿佐谷所長)

3. 2012 年度制度・報酬改定セミナー

日時・会場●

〈大宮〉9月8日(土)・大宮ソニックシティ(埼玉県さいたま市)

プログラム●訪問看護関連の最新情報／介護保険の新制度(複合型サービスや巡回型訪問サービス)と訪問看護／介護職員の疲の吸引等の実施に伴う連携／介護報酬の改定内容と活用の仕方／診療報酬(訪問看護)改定の内容と活用など

講師●佐藤美穂子(財団常務理事)・内野今日子(財団看護専門相談員)

【以下共通】

問い合わせ●日本訪問看護振興財団

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2 日本看護協会ビル5F

TEL 03-5778-7005

FAX 03-5778-7009

URL <http://www.jvnf.or.jp/>

病院に勤務する 警察 OB の勉強会

日時●7月27日(金)

会場●慈恵医科大学1号館3階大講堂

プログラム●特別講演「演題危機管理の要諦」野田健(82代警視総監元内閣危機管理監視原子力損害賠償支援機構理事)／講演「仮演題自殺未遂患者対応と院内自殺対策」逢坂哲也(米津・逢坂法律事務所)／講演「演題院内暴力に対する病院職員の教育の実例」三木明子(筑波大学医学医療系准教授)／講演「警察OBとして病院勤務で思う」斉藤忠利(警察OB岩手医科大学付属病院病院長顧問)／パネルディスカッション／懇親会(INTERCONTINENTAL tokyo BAYにて)

参加費●1万1000円(懇親会費含む)

問い合わせ先●事務局(担当:横内)

TEL 03-5400-1260(直通)

地域医療安全推進センター主催 セミナー

1. 看護教員医療安全研修

日時●8月4日(土)・5日(日)

会場●都道府県会館(東京都千代田区)

受講料●3万円

申込締切●7月20日(金)

定員●48名

2. 医療対話仲介者養成研修 I

日時●8月18日(土)・19日(日)

会場●海運ビル(東京都千代田区)

プログラム●患者家族と医療者間の円滑なコミュニケーションを図り、安全で良質な医療を提供することを目的とし、担当者として患者家族からの相談等に対応するために、その業務遂行に必要な基礎的知識を学び、コミュニケーションスキルおよびメディエーショントレーニング、その他のトレーニングにより対応力を身につける。

定員●30名

参加費●3万円

申込締切●8月3日(金)

3. 医療安全管理者エキスパート研修

日時●8月23日(木)・24日(金)

会場●都道府県会館(東京都千代田区)

プログラム●改めて医療安全管理者に期待されている役割や責任を見つめ直し、その責務に応えて、職員個々の能力を結集して組織の“医療安全力”を高める取り組みを提供する。

定員●先着48名

参加費●3万円

申込締切●8月8日(水)

4. 医療安全トピックス研修 I —— “Disclosure”における戦略

日時●9月8日(土)

会場●都道府県会館(東京都千代田区)

受講料●1万3000円

申込締切●8月24日(金)

定員●80名

5. 部署リスクマネージャー育成研修

日時●9月9日(日)

会場●都道府県会館(東京都千代田区)

プログラム●主体的に活動し医療安全管理者を支援できる部署のリスクマネージャー育成を目的として、医療安全管理者の業務について学ぶことで部署のリスクマネージャーに期待される役割を理解し、リスクマネージャーとしての自分に何が期待されているのか、どのような支援が必要かなどについて、主体的に考える機会を提案。

定員●先着60名

参加費●会員1万5000円

申込締切●8月25日(土)

【以下共通】

申し込み●Webサイト参照

問い合わせ●地域医療安全推進センター

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館15F 地域医療振興協会

TEL 03-5212-9152

E-mail iryou-anzen@jadecom.or.jp

URL <http://www.jadecom.or.jp/info/detail.html?pageid=253>

第16回 日本看護管理学会年次大会

日時●8月23日(木)・24日(金)

会場●札幌コンベンションセンター(札幌市白石区)

テーマ●^{あす}未来の医療を^{リード}する看護管理

プログラム●大会長講演「大学と臨床のコンソーシアムで医療を牽引(リード)する」中村恵子(札幌市立大学)／教育講演「一歩進んだ安全管理」橋本迪生(横浜市立大学医学部附属病院医療安全管理学)、「看護政策に必要な医療経済学」齋田恒(カリフォルニア大学デービス校医学部)、「看護師の働き方と経済性(仮)」金井pak雅子(東京有明医療大学)／シンポジウム『「雇用の質」の向上を目指した労務管理」田中誠二(厚生労働省労働基準

局労働条件政策課), 鈴木康世(北海道公立大学法人札幌医科大学附属病院), 別府千恵(北里大学病院), 関根富士子(株式会社ナイチンゲール), 「連携する——看護師が牽引するチーム医療の現状と課題」野口和子(国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院), 上田順子(旭川医科大学附属病院), 金萬文雄((財)宮城厚生協会坂総合病院), 提嶋久子(市立札幌病院救命救急センター)／パネルディスカッション「看護職副院長は“医療をどのように牽引しているか”」山西文子(東京医療センター), 遊佐千鶴(湘南鎌倉総合病院), 増田えみ(大阪警察病院), 石谷邦彦(東札幌病院), 「これまでの看護マネジメントを自らの経験から振り返り, これからの方向性を他分野の経験者と共に学びあう」内山研一(大東文化大学経営学部), 鈴木聡(日本アクションリサーチ協会), 澤田幸子(北海道勤医協中央病院), 前田和美(慶応義塾大学病院), 初田賢司(株式会社日立製作所), 松尾時雄(旭硝子株式会社), 「看護師の新たな認証制度」島田陽子(厚生労働省医政局看護課), 山田雅子(聖路加看護大学看護実践開発研究センター), 廣瀬福美(介護老人保健施設鶴見の太陽), 高橋久美子(日本医科大学武蔵小杉病院), 有賀徹(昭和大学病院), 「新卒看護師の社会化」樋口春美(医療法人手稻溪仁会病院), 洪愛子(公益社団法人日本看護協会), 松浦和代(札幌市立大学看護学部), 佐藤淳(北海学園大学大学院経営学研究科 経営学部), 「看護とデザインのコラボレーション Part II 快適療養環境を創造する」浅香崇(日本インダストリアルデザイナー協会), 武藤朋子(医療法人財団荻窪病院), 樋之津淳子(札幌市立大学看護学部), 齊藤雅也(札幌市立大学 デザイン学部), 「臓器移植に関して」高橋綱代(公益財団法人富山県移植推進財団), 高橋美香(医療法人医仁会中村記念病院 ICU), 山本小奈美(福岡県済生会八幡総合病院急性・重症患者看護部門), 篠崎尚史(東京歯科大学市川総合病院角膜センター)／指定インフォメーションエクスチェンジ「看護必要度の監査体制」「高等学校と看護系大学との接続」「看護師以外の有資格者の活用と看護の質保証」「地域医療を促進させる看護管理者のネットワーク」「院内研修担当者のためのシナリオ作成ワークショップ」「看護職が起業を推進する」「老いと病いの文化研究所われもこう」／特別講演・公開講座「地域に根差す球団運営」藤井純一(元日本ハム

ファイターズ代表取締役, 近畿大学経営学部)／ランチョンセミナー／一般演題(口演・示説)／インフォメーションエクスチェンジ／懇親会
参加費●
(～6月30日12:00まで)会員1万円, 非会員1万1000円, 学生2000円
(7月1日～)会員1万2000円, 非会員1万3000円, 学生2000円
申し込み●ホームページより
問い合わせ●事務局
〒060-0011 札幌市中央区北11条西13丁目 札幌市立大学看護学部
E-mail janap16@scu.ac.jp
URL http://janap16.umin.jp/

日本看護教育学学会 第22回学術集会

日時●8月26日(日)
会場●千葉大学けやき会館(千葉市)
メインテーマ●看護職者のキャリア発達とその支援
プログラム●会長講演「中堅看護師からのキャリア発達とその支援」亀岡智美(国立看護大学校)／演題発表および研究批評／シンポジウム「看護職者としての基盤づくりとその発展を支える教育」山下暢子(群馬県立県民健康科学大学)・岩波浩美(同大)・塚本友栄(自治医科大学)・宮首由美子(自衛隊中央病院)／懇親会
参加費●学術集会7000円, 懇親会5000円
問い合わせ●学会事務局
〒260-8672 千葉市中央区玄鼻1-8-1 千葉大学看護学部看護教育学教育研究分野気付
E-mail jasne-office@umin.ac.jp

日本看護歴史学会 第26回学術集会

日時●8月26日(日)・27日(月)
会場●日本赤十字看護大学(東京都渋谷区)
テーマ●災害の教訓から改革へ——私たちは何を伝えるべきか
プログラム●会長講演「被災と未災のあいだをつなぐ感性」川嶋みどり(日本赤十字看護大学)／特別講演「人が生きて行くことへの想像力——戦災, 大震災を生きて」黒井千次(小説家)／公開シンポジウム「災害の教訓から改革へ——私たちは何を伝えるべきか」金愛子(石巻赤十字病院), 雅楽川聡(公立阿伎留医療センター), 齋藤裕基(株式会社ウェ

ルファー あゆみ訪問看護ステーション)／ワークショップ「看護歴史研究方法を学ぶ」／一般演題／示説／懇親会
問い合わせ●事務局
〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-1-3 日本赤十字看護大学内
E-mail jsnh26-office@umin.ac.jp
URL http://rkango26.umin.jp

平成24年度日本医療・ 病院管理学会第308会例会 ヨーロッパと日本の交代制勤務

看護師の健康な働き方を考えよう
日時●9月1日(土)
会場●聖路加看護大学(東京都中央区)
定員●100名(当日参加可)
内容●ドイツ・フランス・イギリスの病院で働く看護師の勤務実態に関する調査結果を報告。また, 日本で先駆的な取り組みをしている病院の事例も紹介し, 看護師の交代制勤務のこれからを考える。
参加費●一般2000円, 日本医療・病院管理学会会員／大学院生1000円, 学部生無料(学生証をお持ちください)
問い合わせ●(担当: 中村綾子)
名前, 所属, 連絡先を明記のうえ, mail または FAX にて
〒104-0044 東京都中央区明石町10-1 聖路加看護大学
TEL 03-5550-2262
FAX 03-5550-2262
E-mail koutaisei@slcn.ac.jp
URL http://www.slc.ac.jp/

医療事故・紛争対応研究会 近畿セミナー in Kobe

日時●9月8日(土)
会場●神戸国際会議場メインホール(神戸市中央区)
テーマ●(午前の部)患者への情報開示と謝罪(午後の部)医療における安全
プログラム●
(午前の部)「患者満足の過程」嶋崎明美(国立病院機構姫路医療センター)／「医療現場の対応」佐治文隆(市立芦屋病院)／「患者側・メディア側として謝罪の受け止め方」前村聡(日本経済新聞社)／「『謝罪すると裁判で負ける』のか——賠償責任の要件と調査研究からみた情報開示・謝罪の実際」前田正一(慶應義塾大学大学院)

(午後の部)「患者側の疑問と不満——神戸市医療安全相談窓口に寄せられる相談から見てくるもの」都倉亮道(神戸市保健所予防衛生課医務業務係)／「医療安全の実践——医療事故をどう防ぐか」江原一雅(滋慶医療科学大学院大学)／「インシデントの看護記録はどうあるべきか」市村尚子(元神戸大学医学部付属病院看護師長)
定員●500名(先着順)
参加費●会員4000円、非会員5000円(当日入会可、年会費3000円)
申し込み●FAXまたはホームページより
FAX 0120-286-575
E-mail infosmcm-group@umin.ac.jp(問い合わせ専用)
URL <http://plaza.umin.ac.jp/dhsc/index.html>

日本家族看護学会 第19回学術集会

日時●9月8日(土)・9日(日)
会場●学術総合センター(東京都千代田区)
テーマ●家族とレジリエンス
プログラム●会長講演「復興を支える理論—レジリエンスとその周辺」上別府圭子(東京大学)／特別講演「家族レジリエンス(Family Resilience)を強める」中村伸一(日本家族研究・家族療法学会会長)／シンポジウムⅠ「東日本大震災を生きる家族の理解」・Ⅱ「家族研究の方法論」／研究者公開シンポジウム「愛着と喪失 Attachment and Lossをめぐって」(東京大学「こころの発達と障害の教育研究コンソーシアム」)／テーマセッション／一般演題／事例検討(事前申込制)
参加費●
(～7/23)会員8000円、非会員1万1000円、大学院生8000円、学生4000円
(当日)会員1万1000円、非会員1万2000円、大学院生9000円、学生5000円
申し込み●ホームページより
申し込み締切●7月23日(月)
問い合わせ●事務局(担当:池田真理, 佐藤伊織)
〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学大学院医学系研究科家族看護学分野内
TEL 03-5841-3694
FAX 03-5841-3694
E-mail jarfn19-office@umin.ac.jp
URL <http://jarfn2012.umin.jp>

国際看護研究会 第15回学術集会

日時●9月15日(土)
会場●国際協力機構 JICA 横浜(横浜市中区)
テーマ●在日外国人と災害
プログラム●「在日外国人と災害」伊藤尚子(日本赤十字看護大学・学術集会会長)／シンポジウム「異文化で体験する災害」／一般演題
参加費●
会員(～8/24)2500円、(8/25～)3000円
その他(全期間)学生会員1500円、非会員4000円、非会員学生2000円
※弁当代1000円(希望者のみ)、寄付金1口1000円(有志のみ)
【演題募集】
テーマ●国際看護に関する研究、または活動実践報告(英語または日本語のみ)
応募資格●第一発表者は会員であること
申込期限●7月6日(金)17:00まで
詳細●ホームページ参照
問い合わせ●事務局
〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-1-3 日本赤十字看護大学 国際・災害看護学 伊藤尚子
E-mail 15.kokusaikango@gmail.com
URL <http://kokusaikango2012.web.fc2.com/>

地域社会振興財団 平成24年度研修会

第36回スタッフ育成・管理担当者研修会
日時●10月12日(金)・13日(土)
会場●自治医科大学地域医療情報研修センター(埼玉県さいたま市)
テーマ●スタッフ育成のためのコーチングとティーチング
ねらい●看護管理者をはじめとする保健医療分野の管理者・教育担当者としてコーチングとティーチングの実践を学び、スタッフ育成に向けて柔軟で効果的な関わりができる能力を身につける。研修者の所属部署における効果的なスタッフ指導について理解することができる。
プログラム●①スタッフ育成のためのコーチング／②スタッフ育成のためのティーチング
対象●看護単位の責任者とその任にあたる者、および看護単位でスタッフ育成の任にあたる者。関連職種の単位の責任者とその任にあたる者、および関連職種の単位でスタッフ

育成の任にあたる者
受講料●1万8000円
申込期間●～9月21日(金)
申込方法●専用の受講申込書(ホームページよりダウンロード可)を郵送。
問い合わせ●(財)地域社会振興財団事務局 研修課
〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-160
TEL 0285-58-7436
FAX 0285-44-7839
E-mail fdc@jichi.ac.jp
URL <http://zcscs.or.jp/>

聖路加看護大学 看護実践開発研究センター 2013年度認定看護師教育課程 研修生募集

教育期間●2013年6月1日～2014年2月28日(9か月間)
※毎週、金・土曜日を中心に開講し、できるだけ職場を離れず学ぶための環境を提供します。ただし、共通科目および実習は、月～金曜日に行ないます。
定員●不妊症看護コース15名、がん化学療法看護コース30名、訪問看護コース15名
学費●入学金10万円、授業料80万円※実習費含む
出願期間●2012年8月20日(月)～8月31日(金)消印有効
検定料●5万円(郵便局「普通為替証書」)
試験日●2012年9月29日(土)筆記試験9:00～10:30、面接試験13:00～
合格発表●2012年10月10日(水)14:00
募集要項および出願書類●本学ホームページよりダウンロード
問合わせ●聖路加看護大学看護実践開発研究センター認定看護師教育課程事務係
〒104-0045 東京都中央区築地3-8-5
TEL 03-6226-6388(直)
E-mail rcdnp-cen@slcn.ac.jp
URL <http://rcdnp.slc.ac.jp/nintei>

訂正とお詫び

本誌6月号および7月号(22巻6号および7号)インフォメーション欄に誤りがありました。
下記のとおり、訂正しお詫びいたします。

〈6月号〉P514, 7月号 P596 日本看護教育学学会第22回学術集会 問い合わせ先

誤: 〒260-8672 千葉市中央区亥鼻1-8-1 千葉大学看護学部看護教育学教育研究分野気付 / E-mail jasne-office@umin.ac.jp

正: 〒204-8575 東京都清瀬市1-2-1 国立看護大学校亀岡研究室気付 / E-mail jasne22@yahoo.co.jp

〈7月号〉P597 地域社会振興財団平成24年度研修会 第36回スタッフ育成・管理担当者研修会 会場

誤: 埼玉県さいたま市

正: 栃木県下野市